

経 済 建 設 常 任 委 員 会 要 点 記 録

日 時	令和4年12月8日	開 会	10時00分	会議時間
		閉 会	14時32分	3 : 45
場 所	委員会室			
出 席 者	前田委員長・澁谷副委員長・長谷委員・川股委員・川原委員・生本委員・林委員 傍聴議員：松島議員、宮議員、柏野議員、新岡議員、石井議員			
説 明 者	副市長、経済部長、建設部長、水道部長 外20名	傍聴者数	0人	
事 務 局	議会事務局長、同次長、同主査	記 者	2人	

会 議 の 経 過 事 項

	<p>委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。</p> <p>●日程1．現地調査について</p> <p>・市道南12号恵庭線（漁太）</p> <p>日程1．現地調査について 終了</p> <p style="text-align: center;">10時45分 休憩</p> <p style="text-align: center;">10時55分 再開</p> <p>●日程2．付託案件審査について</p> <p>(1) 議案第9号 市道の変更について</p> <p>【質疑】</p> <p>なし</p> <p>澁谷副委員長 採決して、可決でお願いします。</p> <p>川原委員 採決して、可決でお願いします。</p> <p>川股委員 市道の距離は短くなるけれども、市民生活に大きな影響を及ぼすこともなく、採決して、可決でお願いします。</p> <p>長谷委員 採決で、可決でお願いします。</p> <p>生本委員 採決、可決でお願いします。</p> <p>林委員 採決して、可決でお願いします。</p> <p>前田委員長 全員の意見が採決で可決、本案については採決して可決で決定。</p> <p>(2) 陳情第11号 パワハラ問題における市議会の迅速かつ適切な対応と不当な飲食費の返還を求める陳情書</p>
--	--

	<p>【質疑】 なし</p>
澁谷副委員長	<p>第三者委員会での議論も終えていなく、監査請求を実施し、結果も出ていないことから継続をお願いします。</p>
川原委員	<p>陳情書に42万3千円という金額が出ており、実態がわからなく、懇親会の飲食費は市に返還すべきとの文言もあり、理由も明記されず、心情は理解できるが、陳情内容は理解できないので、採決し不採択をお願いします。</p>
川股委員	<p>継続と思っていましたが、川原委員から採決し不採択との話があり、パワハラに対する迅速かつ適切な対応と記載があるが、今、第三者委員会の外部委員を選定中であり、不当な飲食費の返還を求めるとありますが、監査請求の中で、不当かどうかの結論が出ていない中で、報道のままであり、事実かどうかわからない、思い込みの陳情であるので採決し、不採択をお願いします。</p>
長谷委員	<p>事実と反してることも書かれていますが、陳情の本筋の意味はわかるので、第三者委員会や監査請求での真相究明が必要と考え、継続をお願いします。</p>
生本委員	<p>第三者委員会による調査で真相究明されていくことと、議会としても監査請求をし、適切な支出だったか調べてもらう運びとなっており、結果が出るまでは判断しかねるという状況なので、継続審査をお願いします。</p>
林委員	<p>採決し不採択をお願いします。</p>
前田委員長	<p>継続審査か採決かでご意見が分かれまされたので、本案については討論を省略して起立採決に入りたいと思います。本案について、本日、採決することに賛成の委員の起立を求めます。</p> <p>(賛成者起立)</p>
前田委員長	<p>起立3名であり、委員長判断で、第三者委員会の意見が出ていなく、その結果を待って、陳情に答えたいと考えており、継続審査とさせていただきます。</p>
	<p>日程2. 付託案件審査について終了</p>
	<p>●日程3. 所管事務調査について</p> <p>1) 報告事項 事故等発生(処理)報告について 資料説明 事故等発生(処理)報告書</p>
西中経済部次長	
	<p>【質疑】 なし</p>
	<p>日程3. 所管事務調査について終了</p>
	<p>●日程4. 経済部関連</p> <p>1) 報告事項 資料説明 ①肥料・飼料価格高騰に対する農業支援について</p>
山下農政課長	

嘉屋経済部次長	資料説明 ②任期満了に伴う農業委員の改選スケジュールについて
金花と緑・観光課長	資料説明 ③新型コロナウイルス感染症及び物価高騰に伴う経済対策について
溝全国都市緑化北海道フェア推進室主幹	資料説明 ④シン・えにわん産業祭2022のアンケート結果について
長谷委員	資料説明 ⑤盤尻地区観光まちづくり懇談会について
山下農政課長	資料説明 ⑥ルルマップ自然公園ふれらんど施設のあり方検討会について
長谷委員	資料説明 ⑦ガーデンフェスタ北海道2022の検証について
長谷委員	<p>【質疑】</p> <p>①資料① 肥料1t当たり1,400円半額支援、飼料1t当たり250円半額支援でそれぞれ費用は現段階では1t当たり2,800円、飼料は500円で、間違いはないか伺います。</p>
山下農政課長	<p>① 金額の半額ではなく、道の支援が肥料1t当たり3,125円を支援することとしており、そのおおむね半額の1,400円で設定しています。飼料の道の支援が1t当たり600円で、その約半額の250円と設定しています。単価の設定はJA道央から支援要請があった際に、管内4市で集まり、支援の単価、支援方法、支援の時期などについて合同で調整会議を行った中で、JA道央も各市町村も同額を出すという4市足並みを揃える形で支援を行います。</p>
山下農政課長	<p>② 資料② 農業委員任命に当たり、認定農業者が過半数を占めること、中立委員を含めること、青年・女性の積極的な登用に配慮することとされていますが、それぞれの項目の達成度を伺います。</p>
川股委員	<p>② 農業委員15名の内、認定農業者は13名、青年女性の積極的な登用で、一般公募を行い女性2名が中立的な委員でもあるという実績です。</p>
川股委員	<p>③ 来年、改選期での課題について伺います。</p>
山下農政課長	<p>③ 地区推薦と団体推薦等があるが、かなり業務的にハードなこともあり、地区からの推薦をいただくのが、なかなか難しいところもあります。また女性青年も、公募はかけるが、どれだけ集まるかが、かけてみないとわからないところはありますが、女性の登用が今後増えていければと考えています。</p>
山下農政課長	<p>① 資料①配合飼料価格安定制度に加入している農業者が支給の対象者となっているということであり、この制度の概要を伺います。</p>
山下農政課長	<p>② 市内で価格安定制度に加盟していない畜産業者はいるのか伺います。</p>
川股委員	<p>① 配合飼料価格の上昇による畜産経営の影響を緩和するため、生産者、配合飼料メーカー、国が基金を積み立て、輸入原料価格が前年度の平均を上回った場合、国の緊急補填は前年の価格より11.5%以上の価格になった場合に、価格上昇分の補填を補う制度となっています。</p>
川股委員	<p>② 道は価格安定制度に加盟している農家限定の支援であり、聞き取りをした中では加入している方だけだったが、もし漏れ等で、支援を受けられない市内の畜産農家がいた場合も想定されることから、市の独自支援は、価格安定制度に加入していない畜産農家も支援をできる制度の組み立てになっています。</p>
川股委員	<p>③ 市で補助をする、その場合JAに加盟していなければ250円で、1t配合</p>

山下農政課長	<p>飼料は現在9万円近くなっていて、支援することについては異議はなく、いただける方についてはありがたいと思うが、安定制度に入っていないと、そういう状況がある。数年前は1tが6万5千円であり、支援制度は直近の金額と今の金額の差額を埋めようという制度であったと思い、その点についてと、加盟していない戸数についても先ほど伺いましたので、お願いします。</p>
川股委員	<p>③ 加入していない農家は、事前に聞き取りした中ではおりませんでした。配合飼料の単価は、価格安定制度の発動される以前は6万7千円程度が、現在は10万円ほどで価格が上昇しています。配合飼料は3ヶ月ごとに単価が見直しされ、配合飼料の価格安定制度による補填、実質的な主要コストを第2四半期、今年の7月から9月までと同等の8万3千5百円ほどの水準にしています。乳製品の過剰在庫、牛の市場価格の暴落にあった酪農家、11月までの飼料の高騰対策として、26か月以上の経産牛1頭につき7千円の支援が国からされます。北海道は価格安定制度の加入金と同等の6百円を支援し、本市とJAを合わせますと250円と250円で500円が支援されることとなり、飼料購入や価格安定制度の加入促進に繋がればと考えています。</p>
西中経済部次長	<p>④ 円高、ウクライナの紛争等で小麦トウモロコシ等の価格の暴落に起因し、飼料・肥料高騰、特に酪農家は乳価の上昇がない中、餌代が何倍にもなり、子牛の販売価格が1頭10万円から1万5千円程度に下がり、経産牛も補助はあるが、単価が下がり、酪農家は本当に厳しいときを過ごしており、経営をどうしようかと考えるときに来ているのではないかと考えています。今回は補助があるが、更なる検討をお願いしていきたいと、コロナの関係でも影響が出ていて、例えば数年支払いを据置きできる融資等を国等とも協議し、何とか酪農家が続けられるようにしていただきたいと思います。酪農業が減ると、堆肥も減り、基幹産業が恵庭は農業であり、循環も含めた検討への要望に対して所見を伺います。</p>
澁谷副委員長	<p>④ 大変経営が厳しいということは聞こえています。酪農家の方とも情報共有しており、物価高騰に限らず水田活用交付金の見直しなど、いろいろな面で酪農業は大変厳しい状況になっているということ把握しています。その上で制度も踏まえ、今後国の動向を注視しながら、恵庭市の酪農業にとって一番良い方法を酪農家と話しながら支援できるものは支援し、国に要望するものは要望するという形をとっていきます。</p>
金花と緑・観光課長	<p>① 資料⑤ 第1回目の委員が構成され、観光ポイントに現地調査に行かれて、どういった意見が出たのか伺います。</p>
澁谷副委員長	<p>① フィールドワークでの意見は盤尻地区全体のインフラ、上下水道、道路、通信設備の脆弱さが指摘されました。その他、飲食施設機能がないこと、施設全般の広報宣伝が不足しているという意見がありました。</p>
金花と緑・観光課長	<p>② 資料⑥ 現状の状況と課題リストアップされ、今後12月から会議のスケジュールが載っていて、この中で課題が提案されて、それに対してどのような流れで進むのか伺います。</p> <p>② 盤尻もふれらんでも第1回目では課題の整理という形で現状施設の状況を確認したところです。その課題をもとに、将来想定する姿を設定をして、その課</p>

<p>澁谷副委員長 金花と緑・観光課長</p>	<p>題の解決に向けた政策について議論していくのが2回目以降としています。</p> <p>③ 年度内に方向性がある程度示せるのか伺います。</p> <p>③ 盤尻地区は意見集約を年度内に、ふれらんどは意見集約をした上で、新たな施設のあり方について提言をして参りたいと考えています。</p>
<p>川原委員</p>	<p>① 資料③ 第9弾の融資であり成果があらわれてないのか、魅力ある政策と思いながらこれを見てるが、動きがないということであり、期限をどう考えて進めるのか伺います。</p>
<p>嘉屋経済部次長</p>	<p>② 資料⑦ 経済対策59億との報告で、事業成果が表れていることは本当に嬉しい限りであり、どのような算定方法でこの金額をはじき出したか伺います。</p> <p>① 借入れについては周知等を行っており、今回出している数字は今年度の新規分で、債務負担で既に借りている方達は、ここには数字は出てきませんが既に継続して利用していただいています。今後こういった事業があるということで利用してる方には個別に通知し、連絡をしながら対応しています。</p>
<p>溝全国都市緑化北海道フェア推進室主幹</p>	<p>② 北海道開発局が作成した北海道産業連関表を一定期間に行われた財、サービス、産業間取引を一つの行列に示した統計表をもとに推計しています。経済波及効果はイベントの実施などにより新規に増加した新規需要増加額をもとに推計され、新規事業増加額のうち、地域内に直接影響を及ぼした額の直接効果、直接効果によって引き起こされる地域内産業への影響額、第一次波及効果これらの二つにして直接効果、第一次波及効果までの過程で生まれた所得で引き起こされる消費に伴う影響額、こちらの第二次波及効果の合計額によって推計されます。表でも示していますが、今回のフェアでは新規需要増加額としてメイン会場にご来場された方々にアンケート調査を実施して、これから推計した観光消費額、フェアの実行委員会などで支出した事業費の合計41億7千5百万円を新規需要増加額として推計して、産業連関表を用いて推計した結果、直接効果33億6千3百万円、第一次波及効果14億5千5百万円、第二次波及効果10億9千9百万円となり、合計59億円を経済波及効果としたところです。</p>
<p>川原委員</p>	<p>③ 新設されたのは4月15日の閉会中の第6弾で提案されたと思っておりますが、間違っていましたら、後で訂正していただければ結構ですが、予算が218万円で2件の利用があったと聞いてます。おかしいと思ったのは、緊急小口で5百万円を借りずに利子補填に使われていて、1年間その流れが動いてます。利子補填9万6千円、信用保証協会の保証料8万4千円、合計34万円が2件と閉会中に報告を受けてます。そのまま継続してきて本日報告があるのは、利子補填が9万6千円、信用保証料14万4千円、合計24万円が執行額が18万円で件数が1件ということについて説明を伺います。</p> <p>④ ガーデンフェスタに7億円予算を可決し59億に跳ね返った効果的事業であり、全て恵庭市で消費循環したとは思わないが、34万人が恵庭市に来られ、多くが恵庭市を起点とし循環してたのではと推測するところです。その効果率は大変良く、アピールしていくべきと感じます。特に市民に対し、今回の成果を報告し、賛同をもらうべきと思っており、その考え方と、3月31日で緑化フェア推進室が解散されるが、これを中心としてお客様に来ていただく第3次</p>

嘉屋経済部次長	波及効果に繋がるのではないかということの考え方についてを伺います。
溝全国都市緑化北海道フェア推進室主幹	<p>③ 第6弾の報告した数値は昨年度の数値であり、今、資料を持ち合わせていないので、直接説明させていただきます。</p> <p>④ 北海道での経済波及効果で59億円で、産業連関表が北海道版での数値になり、恵庭版の連関表等公式なものがなく効果としては示せないが、メイン会場の恵庭市に来ていただいた34万人の方にとったアンケートを用いて推計しており、かなり多く恵庭の中に消費経済循環があったものと認識しています。こうした取組を次に繋げるためということも含め、懇談会等も実施しています。公式記録は、例えば図書館で市民の方が見ることができるよう、可能であればホームページの掲載も考えてます。次年度以降の取組は検討している最中で、継続することで恵庭の認知度、地域・経済活性化に繋がると考えており、進めて参りたいと考えてます。</p>
川原委員	⑤ コロナ対策で3年間据え置きしてる企業が恵庭市にもたくさんあり、返済が始まってるところ、これから始まる場所もあり、返済の状況についてどう展開していくのか、調査研究をしていただきたいと思っており、これから返済が始まることについての経済対策について所見を伺います。
嘉屋経済部次長	<p>⑥ 7億が59億になったことを市民周知を期待して、答弁不要です。</p> <p>⑤ 利子補給を債務負担をとり3年としているので、現段階では制度継続と考えていますが、状況は随時確認しながら、どういった方策ができるのかを検討する必要が生じた場合には考えなくては思っていますが、現段階では今の制度を継続させていただこうと考えています。</p>
	<p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p>
川原委員	<p>【質疑】</p> <p>① 台湾経済交流推進事業について、飲食費42万で、全体で220万が支出されていると報告を受け、どのような内訳で支出されたのか伺います。</p>
嘉屋経済部次長	① 2,207,315円の内訳、昼食・懇親会費1,708,270円、視察経費298,380円、商談会諸経費200,665円です。
川原委員	② 懇親会は3か所で、一人いくらなのか、どのような視察か伺います。
嘉屋経済部次長	② 懇親会費は昼食費も含めており、視察は台湾華僑招聘の中で教育旅行の誘致も目的とし、そういった視察に係る経費です。商談会諸経費は資料作成、会社のコーディネーター等が入っています。
川原委員	③ 市内の名所を見ていただく、どのような視察か伺います。
嘉屋経済部次長	<p>③ 教育旅行の誘致の目的が恵庭市内を周遊拠点として道内を回ること、市内は緑化フェアの会場のはなふる、市外は小樽市、ウポポイを視察しました。</p> <p>2) その他所管事務調査について終了</p>

	<p>日程4. 経済部関連終了</p> <p style="text-align: center;">12時03分 休憩</p> <p style="text-align: center;">13時00分 再開</p> <p>●日程5. 建設部関連</p> <p>1) 報告事項</p> <p>資料説明 ⑧令和4年度除雪計画について</p> <p>資料説明 ⑨恵庭跨線橋補修工事について</p> <p>資料説明 ⑩公園再整備事業について（恵み野中央公園・すみれ公園）</p> <p>資料説明 ⑪市営住宅使用料の減免制度について</p> <p>資料説明 ⑫島松駅周辺再整備事業について</p> <p>【質疑】</p> <p>長 谷 委 員 ① 資料⑧今年のような大雪に対応するには、道路が狭い、交差点の雪山を小さくするには排雪の回数を増やすことが解決の大前提となると思いますが、前年度除排雪にかかった費用総額、今年度の予算総額について伺います。</p> <p>長 屋 管 理 課 長 ① 令和3年度は9億9百57万8千円、今年度は当初予算4億4千万円、流用1億1千6百万円、全体で5億5千6百万円を計上しています。</p> <p>長 谷 委 員 ② 去年のような大雪に見舞われた場合、全く足りなく、資機材の確保が令和3年度は課題になったとのことで、流用で対応するという説明で、昨年度のように大雪が降った場合の対応として十分だと思っているのか伺います。</p> <p>長 屋 管 理 課 長 ② 今年度の予算流用の内訳は、路線排雪5日から19日、交差点排雪5千㎡から4万5千㎡、拡幅積上げ除雪8時間から240時間で設計変更を行い、除排雪体制を確保し、委託業者とも協議を進めています。降雪状況により、更に除排雪作業が必要となった場合には、補正予算を速やかに要望し、作業を進めて参りたいと考えてます。町内会、市民のアンケート調査、意見交換会において、生活道路の雪山が非常に見通しが悪くて、排雪を早くしてほしいという意見をたくさんいただいていますことから、町内会に対してアンケート調査を実施し、冬季間支障となる箇所を地図に落としいただき、委託業者にも情報共有しています。少しでも早く排雪を行い、改善できるように進めていきたいと考えています。幹線道路の排雪は、降雪・道路状況を踏まえ予算を勘案し作業を実施してきましたが、そうすると去年のように作業が遅れるという課題があり、今年度からは病院周辺の道路、バス路線などを優先し学校周辺については冬休み明けの始業式前に排雪の時期を設定して行いたいと考えています。</p> <p>長 谷 委 員 ③ 住民が自分の敷地の雪を道路に出すことが除雪の邪魔になることを、市民に対してどのように啓発活動していくのか伺います。</p> <p>長 屋 管 理 課 長 ③ 広報紙と合わせて配布の除雪のパンフレット、生活情報誌のちゃんとに雪出し禁止のお願いについてのチラシを折り込んで配布し、理解や協力をいただくことを考えています。情報の発信は市のホームページのトップ画面に12月からリンクを貼り、除雪の情報がすぐ確認できるようにしていますので、そこで</p>
--	---

川 股 委 員	<p>も雪出しのお願いについて周知をしていきたいと考えています。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p> <p>【質疑】</p> <p>① 島松寿町市営住宅において、減免を受けずに市住に入っている人で車を持つてる方もいて、駐車場料金もわずかですが支払いをしていて、昨年特に感じたと思いますけど、駐車場の除雪を自分でやっていて、高齢化とともに除雪をすることが不可能になり、全体で話し合い、年間契約10数万円で業者に駐車場の除雪を頼み、20戸全部入っていれば5千円位で済むが、車を持つてる人が5, 6件しかいないとなると、数十万を割ることになり、生活にもゆとりがないから市住に入っているの、その方にとっては大変な負担なので、500円駐車場料金を払っているから、半分ぐらいでも支援してもらえないかという話を聞き、検討について伺います。</p> <p>② 島松駅複合施設は今現在どのような検討の段階か、西口について少ししばらく止まっているようではありますが、その辺りの将来性について伺います。</p>
栗野市営住宅課長	<p>① 集合住宅の場合は、駐車場を含め、共用部の電気代など住戸以外の共通経費は共益費で入居者の方々に負担をさせていただいています。住戸以外の共通施設の維持管理は入居者相互で料金を負担し、または徴収し支払っていただいています。昨今であれば電気代が上がってきたり、昨年度の除雪費用もガソリン代、オペレーターの人件費が上がり、契約の料金も上がっているという相談を入居者、建物管理の方からもいただいています。入居率に応じて負担が高くなっているという現状に対し、市の方で検討した経緯があるかについては、具体的に費用負担が減るような形での具体的な検討にはいたっていません。管理人、入居者に説明する際は、何とか安くなる契約方法がないか、電気代を抑える方法がないか等の相談に個々に対応している現状であります。</p>
今野建設部次長	<p>② 島松駅再整備事業の複合施設の所管が企画振興部で、我々も情報もらい、お話できる部分として、実際に動いてはいます。庁内の関係部署、公共施設が入る図書館、島松支所を想定していて庁内協議、事業者へのサウンディング的な部分も進めているところと聞いているが、詳細は私の方から申し上げる部分が限られていて、企画振興部とも共有しながら進めているところです。</p>
川 股 委 員	<p>③ 島松複合施設は企画振興部で建設部まではきてない段階だけど、歩みは鈍いが少しずつ進んでいるということで受けとめます。西口について再度伺います。</p> <p>④ 市住の除雪は理解はできるが、市民の声も理解してほしい、人力では大変だが、車がないと生活できない、全部面倒を見て欲しいということではなく、半額補填するとか、冬場の駐車場料金を免除するとか、500円もらっている大家としての気持ちを見せてほしい、ボランティアを募り市営住宅の除雪をもらうなど、雨で穴が開いたら大家は整備することと思、検討の材料に入れてほしいと思います。</p>

今野建設部次長	③ 島松駅西口について、令和元年7月制定の島松駅広場計画の中で、西口の広場計画との位置づけをし、都市計画決定の手続きが必要となり、J R北海道の承諾が必要であり、令和元年以降、J R北海道と協議を重ねてますが、まだ承諾をいただけていない状況ですが、北海道と都市計画決定の手続きでアドバイスをいただきながら早期に承諾をいただけるよう進めているところです。
栗野市営住宅課長	④ 除雪、電気代、草刈りなど共益費全体の様々な課題があり、入居率、個人負担の金額、電気代高騰のことも入居者から聞いているので、市が手伝える方法がないかを、引き続きあり方を含めて検討していきたいと考えています。
川 股 委 員	⑤ 都市計画決定がまだとのことで、遅れることに至った経緯を伺います。
今野建設部次長	⑤ 自由通路の架け替えの計画があり、J R北海道と自由通路を活用しながら、複合施設も加味しながらの計画だったと認識しています。そのときも都市計画決定の話がありましたが協議がうまくいかなく、改めてまた自由通路の計画等を見直し、令和元年に計画している自由通路の話がまた再計画になったということで、またそこからJ R北海道と計画決定の協議を、改めて違う経路でしていることで、感覚的にはかなり前から都市計画決定の話は出ていますが、その計画の場所が変わったりしていて、今の計画の決定手続きは、令和元年から協議を進めているということになります。
川 原 委 員	① 植樹マスの町内会、各種団体への支援の確定した金額が来て、今年予算では去年並みの予算だと思いますが、今年の実績の状況について伺います。
大林管理課主幹	① 令和3年度助成額実績は37団体1,704,633円、令和4年度38団体1,738,770円、35,000円ほど多く助成の実績となっています。
川 原 委 員	② 花のまちとして、植樹マスの除草を指定管理で実施するという建前論は何度も聞いており、民間の力を借りないと現状ではできないと思います。基本的にはボランティアの感覚です。市として、この区域をいくらで除草しますが、受けていただけませんかという投げかけ方が改善策になると思います。今の基準は団体であり、個人では受けられなく、見直し、放置されてる場所を削減していく手段として、除草する日当の金額が低すぎると思っています。今年度7,500円に決定したと報告があり、時期になると私どもは5回植樹マスを除草します。相当な面積を手作業でやるので10人以上出るので、延べ5,60人が関わり、年間7,500円で募集をかけるには金額が低すぎます。植樹マスの除草を来年度こなす方法は、一般に有償ボランティアという感覚で募集をかけたらいいいと思うが、所見を伺います。
大林管理課主幹	② 協力いただいている団体数は、先ほどの報告で昨年度よりも1団体増えたという報告でしたが、コロナが落ち着いたので、また今年から取り組んでいただけるようになった町内会が一つ、高齢化で人手がないのでやめたいという町内会が一つで、町内会数については前年度と変わっていません。スポーツ関係を中心とした各種団体は、3年度は実施したが4年度はやめたいというところが一つ、4年度から新たに取組みたいところが二つで合計すると38で1増となっています。歯抜けになってるようなところもたくさんあり、市としてはできるだけ周知に努めて、取り組んでいただける団体を増やしていければということ

川原委員	<p>で、今後も取り組んで参りたいと考えています。費用は64円/㎡で、助成金を算定し、条件は年2回以上取り組んでいただくことになってるが、実際には年2回では、かなり伸びた状態が発生することも、私どもも認識していますので、回数、費用の算定のあり方も今後検討していきたいと考えています。</p> <p>③ まかないきれないところがあり、花のまちとして恥ずかしい現状があり、行政がすべきとの考えの団体もいるが、有償ボランティアにしっかりとした日当でお願いできる体制を作ってほしく、単価についての考え方、団体にとらわれずに、目につく駅前通りや公共施設に限定して対応するといった柔軟な考え方で対応していくような考え方、現状の道路管理者ではできていないので、柔軟な考え方について聞かせてください。</p>
大林管理課主幹	<p>③ できるだけ多くの方にお手伝いいただけるような声掛けはもちろん、体制、助成金のあり方等についても研究していきたいと思っています。</p> <p>2) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程5. 建設部関連終了</p> <p>●日程6. 水道部関連</p>
平井下水道課長 高野終末下水処理場長	<p>1) 報告事項</p> <p>資料説明 ⑬下水道GXの取組について</p> <p>資料説明 ⑭下水終末処理場維持管理業務に係る履行監視（上半期）について</p>
生本委員	<p>【質疑】</p> <p>① 資料⑬ 温室効果ガス排出量は何で量るのか、課題のところでは2013年度と2022年度を比べ26%削減との数字の根拠について伺います。</p> <p>② 6月に市がゼロカーボンシティの実現を目指すことを宣言したことに対して、市全体で各課で具体的に取組んでいく姿勢がすごく大事だと思い、水道部で取組を行うと決めたのは、他の所管に比べ先駆けの姿勢か、下水道事業自体が温室効果ガス排出量削減をやるべき分野なのか伺います。</p> <p>③ 他市で同じような取組、先進地事例があれば伺います。</p>
平井下水道課長	<p>① COP10全国の会議の中で地球温暖化に向けた対策をしていくということがスタートと考えてます。国でも様々な政策をしまして、市もこれまで第1次実行計画を平成13年から進めていて、令和2年度から令和6年度までの第5次の実行計画の中にいるということです。市役所が所管している施設等の例えば電気量、ガソリン使用量であったり、活動によって出る温室効果ガスを毎年集計をしています。その集計値をもとに数値化しているもので、量としては二酸化炭素の排出量に換算した数値で、それに対する削減量で数値化して実行しています。平成25年の排出量は市全体で1,350kgという数値で、それに対してどれぐらい減らしていくかに取り組んでいます。</p> <p>② これまでも様々な取組をしていて、例えば照明灯のLED化や、温室効果ガ</p>

川 股 委 員	<p>スの削減の取組は、それぞれ所管で取り組んでいたことと思います。下水道事業としてもこれを契機に事業者ヒアリングを実施し、取り組んでいきたいということで報告させていただいたところです。</p> <p>③ 道内では、富良野市で下水道処理施設内に発電施設を設け、事業に取り組んでいると事例もあり、参考にしながら進めて参ります。</p> <p>① 太陽光パネルを空きスペースに民間業者が設置し電気を市が購入する、購入単価は北電から買う値段と発電した業者から買う値段での相違はあると思うが、その単価について伺います。</p> <p>② 図面で水色の空きスペースと屋上の部分は別として水色の部分は土地の部分になるが、上から二つ目の水色細長く下に向かっていている部分は処理施設を増設するための予備地ではないかと思いますが、もしここにパネルが立つとなると、将来的に処理施設が増設するとき大丈夫か伺います。</p> <p>③ 処理場で攪拌等の処理があり、最終的に綺麗な水になって漁川に流していて、結構な水量が出てると思い、川に向かってそこに小水力発電器をつけて、そこでもさらに注がれる落差を利用した身近な電気、例えば携帯の充電ができるとかいろんな方法があると思ひ、そんなことも検討の一つに入ってもいいのかなと今思ひ、所見を伺います。</p>
平井下水道課長	<p>① 平成25年度の排出量の回答で数字誤りがあり、2,087tの二酸化炭素排出量で記載してますので訂正させていただきます。</p> <p>今の社会情勢を見た場合に電気料金が高騰して、今の下水道事業の経営が悪くならないことを前提にこういった事業を検討していきたいと考えてます。高い電力を買って事業を圧迫することがないことを基本に考えていて、ヒアリングした中で事業計画を見た上で検討していきたいと思ひます。</p> <p>② 水処理棟の増設を当初予定してた土地だが、今の人口減少の伸びや分流化事業で処理水量が減少していく見込みが言われており、事業との兼ね合いを見ながら増築の予定がなければ、ここを使ってということを考えていきたいと思ひます。今のところ新たな施設計画はなくても、人口が急激に伸びない限りは処理していけるという方向です。</p> <p>③ 可能であれば、提案を受けながら考えていければと思ひます。</p>
川 股 委 員	<p>④ 終末処理場で以前使ってた高ジェネレーターが動いてなく、あのままにするのか、今出来てるガス全量を全て民間に売ってしまい、市で使うガスは一つもなくなっているのか、夏になって空中放出は全くしてないのか、もしそうであれば電気を発電できる機械があり、ガスもあるなら動かすべきだと私は思ひます。そうでなければ別のところで活用するとか、動きますよね。入れてる2基の発電機、ガスタービン、今宝が眠ったままかと思ひ、所見を伺います。</p>
平井下水道課長	<p>④ 今のバイオガスは、全量を発電の方にFIT事業に移行しています。元々あったマイクロガスタービンは運用してなく、維持管理等も非常にかかるので、費用面も考えて今は全量FIT事業に回しているという状況です。</p>
高野終末下水処理場長	<p>④ 当時使ってた発電機は費用面のこともあり、完全に使用できない状態とし、機械の中に気体を充填し、安全の確保に努めています。すぐに稼働となると機</p>

川 股 委 員	<p>械をメーカーに再点検の依頼をし相当な費用がかかり、年間の点検費も、当時は相当かかっていたのでそのことを考えると、再利用は難しい状況です。</p>
	<p>⑤ 少しでも財源を増やすのに中古で売るという考えもあるのでは、置きっぱなしで何もしなく、必要ないのであれば、欲しい工場にという検討をしてもいいのかなと思います。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p>
川 原 委 員	<p>【質疑】</p> <p>① 広報に下水道の断熱材マンホールがPRで載っており、昨年一部はマンホールの断熱材を入れたところもあり、それについての評価を伺います。</p>
平井下水道課長	<p>① 資料がなく、詳細な数字は言えないが、昨年かなり雪が多かったことから、段差が多く発生し、下水道課としても土嚢を設置するなどして対策をしていたところ。今年も断熱蓋を150ほど新たに設置しています。冬の状況を見ながら、効果があるのか見ていきたいと考えており、以前に設置したところはそれまでよりは段差は少なくなっているが、完全になくなっていない状況で、流れている下水の量、日が当たる当たらない、交通量の関係、外気の影響があり、一概に効果があるというのは難しいが、それなりの効果はあるので、今できる対策としては断熱蓋の設置を進めていきたいと考えてます。</p>
川 原 委 員	<p>② 断熱蓋を入れる前はマンホールが見えるまで溶け、段差が20cmくらいになり、段差による車の故障の賠償の事故報告もあったと思います。出来れば道路と同じ面の高さとなるように断熱効果の高い蓋を設置すればいいと思っているが、去年と同じものでは、半分くらい下がり、がたがた等の音がし、改善していないのではないかと思います。所見を伺います。</p>
平井下水道課長	<p>② 断熱蓋の報告が遅れて申し訳なく、今冬期の状況も踏まえての報告を考えていました。マンホールは市内約1,800か所あり、幹線道路は比較的圧雪が少なく、生活道路を中心に進めていき、令和3年度末までは855か所に設置し、今年約150か所設置するので約1,000近くは設置するが、800以上残っている状況で、順次やっていかないといけないという状況です。蓋の種類によっても付けられない蓋があり、工業団地から出る温かい汚水が流れており、下水道の幹線であればマンホールの中は、高温になりますので道路との温度差がかなりあるので、断熱蓋をつけたところでも、その上に温かい空気が出てくるので、全く段差がなくなるということではなく、溶け方によっては本当に蓋が全部見れるような状態になることもあり、本当にそこまで止めれるというような対策については確立されている状況ではなく、ある程度一定の効果があるということです。金額的なことも考え設置しています。新たな段差対策に替るものが開発されれば、そういったものも含め検討していきたいと思いますが、金額面を含めてできる対策として今の事業を進めているところです。溶けてる場所については、個別に教えていただければまた現地確認をしてどういった対</p>

川原委員	<p>策ができるかを検討していきたいと思います</p> <p>③ 広報に載せて市民周知したことは、課題や考え方を議会に報告してほしく、議会で言っていないと市民に伝わらないので、今言われた通り、場面によっては変わるわけですから、それに対策していくのが、きめ細やかな行政の形だと思います。</p> <p>2) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程6. 水道部関連終了</p> <p>(理事者・執行部退席)</p> <p>【委員間協議】</p> <p>●日程7. 閉会中の所管事務調査項目について ガーデンフェスタ北海道2022の記念日制定について条例改正に係るパブリックコメントの前に、議会に報告したい。 1月19日に開催したい。</p> <p>【項目】 台湾経済交流推進事業について ガーデンフェスタ北海道2022について 除雪について</p>
川原委員	<p>●日程8. その他 継続になった陳情、返還しようという表現、次期の採決で、会派で十分考えて欲しい。</p>
前田委員長	<p>第三者委員会や監査請求の結果がでていないので。陳情は第1回定例会での審議とし、閉会中は審議しません。</p>
渡邊議会事務局次長	<p>付託になっていても、閉会中の常任委員会において審査しなくても問題ありません。</p>
前田委員長	<p>1月7日の島松駅バリアフリー化の披露式典について、委員会として参加するかどうか、経済建設常任委員会委員と島松選出議員の参加を求める。</p>
	<p>委員長が閉会を告げる。</p> <p style="text-align: right;">(14:32終了)</p>